

教科目標

○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。○○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 深まる学びへ 「世界はうつくしいと」 【1】 「握手」 【4】 [聞く] 意見を聞き、適切に判断する 「漢字に親しもう1」 【1】 [文法への扉1] 「走って」いるのは誰? 「言葉1 相手や場に応じた言葉遣い」 【1】	① ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。 ・話や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)
5	「文法1 文法を生かす」 【1】 「説得力のある構成を考えよう」 【3】 「学びて時に之を習ふー『論語』から」 【2】 一季節のしおり 春一 「情報整理のレッスン 情報の信頼性」 【1】	② ・文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉える。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。	ワークシート 漢字小テスト 定期テスト

6	「文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する」 【4】	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 	
	2 視野を広げて 「作られた『物語』を超えて」 【3】 「思考のレッスン 具体化・抽象化」 【1】 [書く]「論理の展開を意識して書こう」 【4】 「漢字 1 熟語の読み方」 「漢字に親しもう 2」 【1】	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉える。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 目的や意図に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	7	3 言葉とともに 「俳句の可能性」 [書く]俳句を作って楽しもう 【3】 「俳句を味わう」 【1】 「言葉の釣り糸を垂らす」 【1】 「言葉 2 和語・漢語・外来語」 「語彙を豊かに」 【1】	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 俳句表現意図による語句の使い分けに着目し、語幹を磨く。 俳句の特徴について理解を深める。 言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 俳句の作者の表現意図を考え、表現の仕方を評価する。 感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げる。 時間の経過や世代による言葉の変化について理解し、筆者・作者のものの見方や考え方について考える。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。
	情報社会を生きる	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。 	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク

	「実用的な文章を読もう/報道文を比較して読もう」【3】 「情報の信頼性」【1】	② ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。	授業ノート（現代） 自主ノート （漢字・短文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
9	いつも本のそばに 「読書を楽しむ」【1】 『私の一冊』を探しにいこう 『羊と鋼の森』「読書案内 本の世界を広げよう」 「読書コラム ためになるってどんなこと？」【1】 —季節のしおり 夏—	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。	自主ノート （漢字・短文・その他復習予習） ワークシート
		② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
10	4 状況の中で 「挨拶—原爆の写真によせて」【2】 「故郷」【5】 [推敲]論理の展開を整える【1】 「言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語」【1】 「聞き上手になろう」「質問で相手の思いに迫る」【1】 「漢字2 漢字の造語力」【1】	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート （現代・文法） 自主ノート （漢字・短文・その他復習予習） ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		② ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を考える。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
	5 自らの考えを 「複数の意見を読んで、考えよう」【3】	① ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク

11	<p>「考えを効果的に伝えよう」「多角的に分析して批評文を書く」 【5】</p> <p>「漢字に親しもう3」 【1】</p> <p>「文法への扉2 『ない』の違いがわからない?→文法2 文法のまとめ」 【1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けるところを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 	<p>授業ノート (現代・古文・文法)</p> <p>自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)</p>
	<p>「音読を親しもう『初恋』」 【1】</p> <p>—季節のしおり 秋—</p>	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 ・自分の考えが効果的に伝わるように、表現の仕方や論理の展開を工夫し、助言し合う。 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 	<p>ワークシート</p> <p>漢字小テスト</p> <p>定期テスト</p>
		<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 	
12	<p>6 <u>いにしへの心を受け継ぐ</u></p> <p>「和歌の世界」「音読を楽しもう」 【1】</p> <p>『古今和歌集』仮名序</p> <p>「君待つとー『万葉』『古今』『新古今』」 【2】</p> <p>「夏草ー『おくのほそ道』から」 【4】</p> <p>「古典名作選」 【1】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむ。 ・長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使う。 	<p>音読・朗読</p> <p>発言内容</p> <p>漢字ノート、ワーク</p>
		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 	<p>授業ノート(古文)</p> <p>自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)</p>
		<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 	<p>ワークシート</p> <p>漢字小テスト</p> <p>定期テスト</p>
1	<p>7 <u>価値を生み出す</u></p> <p>「それでも、言葉を」 【4】</p> <p>「漢字3 漢字のまとめ」「漢字に親しもう4」 【1】</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。 ・筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつ。 ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。 	<p>音読、発言内容</p> <p>漢字ノート、ワーク</p> <p>授業ノート (現代・文法)</p> <p>自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)</p>
	<p>「話し合い」話し合いを効果的に進めよう</p> <p>—季節のしおり 冬—</p> <p>「合意形成に向けて話し合おう」</p> <p>「課題解決のために会議を開く」 【4】</p>	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合意を形成するための効果的な話し合いの進め方について考える。 ・多様な考え方を認め、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を目指す。 ・複数の発言や共通点を見出すなど、具体的な事例を抽象化し整理する。 	<p>漢字小テスト</p> <p>定期テスト</p>

2	いつも本はそばに 「本は世界への扉/天、共にあり/極夜行」 「読書案内 本の世界を広げよう」 【1】	① ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	漢字ノート、ワーク 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習)
	8 未来へ向かって 「温かいスープ」 【2】 「アラスカとの出会い」 【2】 「律儀な桜」 【2】 「わたしを束ねないで」 【2】 「三年間のあゆみを振り返ろう」 「冊子にまとめて、発表会をする」 【5】 「初日」 「漢字に親しもう5」 【1】	① ・文章を読み、人との出会いや人生について、考えを深める。 ② ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ・文章を読み、人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせる。 ・詩の中の言葉や表現から作品の情景や心情、作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考える。 ③ ・文章の種類と特徴について理解する。 ・構成を工夫し、内容を効果的に伝える。 ・場の状況に応じ、わかりやすく話す。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
巻末教材	文法・漢字 「文法 一、二年生の復習」 「文法1 文法を生かす」 「文法2 文法のまとめ」 「小学校六年生で学習した漢字一覧」	① ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読む。また、学年別常用漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れる。	授業ノート 自主ノート

定期テスト範囲(予定)

1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
1 深まる学びへ ～ 3 言葉とともに	3 言葉とともに ～ 4 状況の中で	5 自らの考えを ～ 6 いにしえの心を受け継ぐ	7 価値を生み出す ～ 8 未来へ向かって

学習上のアドバイス

授業について

- ① 学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。授業は正解を言い合いに来る所ではありませんから、安心して積極的に発言・発表しましょう。
- ② 疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎授業を大切にしてください。いつでも質問に応じます。
- ③ 受験とは、その延長上にあるものです。「集団で学ぶことは個人のそれに勝る」と信じて、一緒にかんばっていきましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 漢字学習と音読は、毎日取り組みましょう。

② 毎日やるべきことを自分で「決める」ことが大切です。受験の一側面で右往左往するのではなく、済ませることと挑戦することに分けて積極的・継続的に取り組みましょう。

その他

① 日本語として使われている漢字や言葉遣い、ものの見方や考え方を学び合う教科ですから、得意不得意や好き嫌いを言わず、3月までがんばってください。

② 漢字検定を校内で実施しますので、廊下に掲示してお知らせします。読書については良書や難しい文章を選択し、速読することを習慣にするとよいです。